

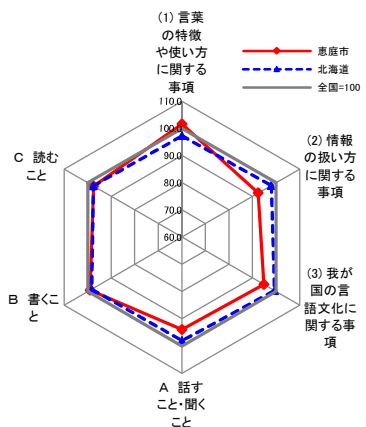
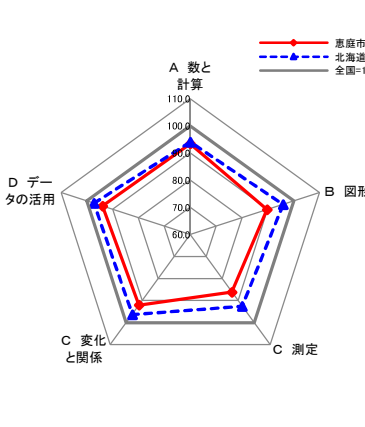
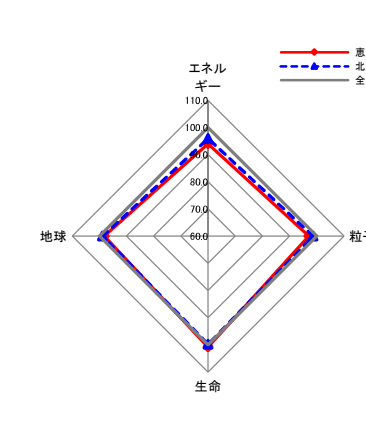
## 1. 調査の概要

対象	小学校6年生 中学校3年生	
教科調査	国語、算数・数学、理科	中学校理科はICT端末を用いたオンライン方式
実施日	4月17日(木)	4月14日～4月17日の間
質問調査	児童生徒に対する調査 学校に対する調査	4月の一定期間にオンライン方式

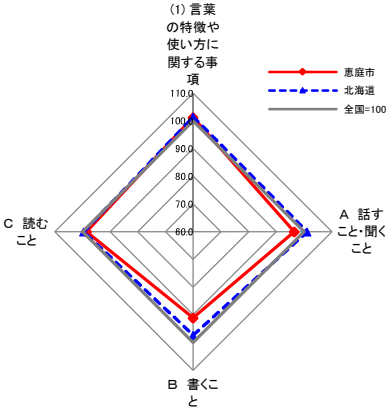
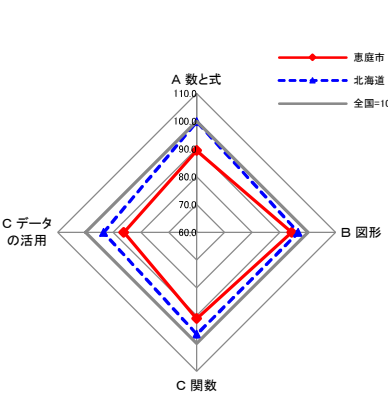
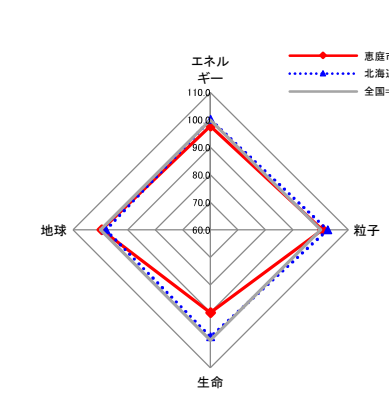
## 2. 教科に関する調査〔国語、算数・数学、理科〕

調査結果の表記	平均正答率		
	全国・全道平均とのポイント差	記号	文言
	+5ポイント以上	△	上回る
	+2ポイント以上 +5ポイント未満	◇	やや上回る
	+2ポイント未満 -2ポイント未満	≡	ほぼ同程度
	-2ポイント以下 -5ポイント未満	◆	やや下回る
	-5ポイント以下	▼	下回る

IRT 中学校理科		
IRT スコア	IRT バンド	
650～	5	
550～650	4	
450～550	3	
350～450	2	
～350	1	

小学校国語		小学校算数		小学校理科	
平均正答率		平均正答率		平均正答率	
北海道との比較	全国との比較	北海道との比較	全国との比較	北海道との比較	全国との比較
≡	≡	≡	◆	≡	≡
(R6) ≡	(R6) ≡	(R6) ≡	(R6) ◆	(R4) ≡	(R4) ≡
内容別正答率(全国比)		領域別正答率(全国比)		領域別正答率(全国比)	
					

国語は、全国と比較して前回同様の「ほぼ同程度」の結果となりました。算数は、全国と比較して前回同様「やや下回る」の結果となりました。「測定」「図形」領域の正答率が低かったです。理科は、全国と比較して前回同様の「ほぼ同程度」の結果となりました。

中学校国語		中学校数学		中学校理科	
平均正答率		平均正答率		IRT スコア	IRT バンド
北海道との比較	全国との比較	北海道との比較	全国との比較	498	3
◆	◆	◆	◆		
(R6) ≡	(R6) ≡	(R6) ≡	(R6) ≡	領域別正答率 (全国比)	
内容別正答率 (全国比)		領域別正答率 (全国比)		領域別正答率 (全国比)	
					

国語は、全国と比較して前回の「ほぼ同程度」から「やや下回る」の結果となりました。「書くこと」の正答率が低かったです。数学は、全国と比較して前回の「ほぼ同程度」から「やや下回る」の結果となりました。「数と式」領域の正答率が低く、「データの活用」領域は全国平均を大きく下回りました。理科のIRTスコアは標準の500に近い498でした。

### 児童生徒質問

#### 主体的・対話的で深い学びの実現

授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分るまで教えてくれていると思う

学習した内容について、分かった点や、よく分らなかった点を見直し、次の学習につなげることができる

学級の友達・生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができる

授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていた

項目	恵庭市小学校	恵庭市中学校	全国=100
主体的・対話的で深い学びの実現	100.0	90.0	80.0

### 学校質問

児童生徒がそれぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫している

項目	1. よく行った	2. どちらかといえば、行った	3. あまり行わなかった	4. 全く行わなかった	5. その他、無回答
恵庭市小学校	37.5	62.5	0.0	0.0	0.0
北海道	48.2	48.6	0.0	0.0	0.0
全国	34.9	60.4	0.0	0.0	0.0

### 対話を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができる」と回答した児童、生徒は全国平均とほぼ同程度（やや低い）でした。その学びを実現するために学習課題や活動の工夫を「よく行った」と回答した学校の割合は、全道や全国の割合を下回っており、更なる授業改善が必要であると学校は自己評価しています。

### ICT活用

授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使用した

ICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができる

ICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができる

インターネットを使って情報を収集する(検索する、調べなど)ことができる

ICT機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ことができる

項目	恵庭市小学校	恵庭市中学校	全国=100
ICT活用	110.0	100.0	90.0

### タブレットを週3回以上使用したと回答した児童生徒の割合は、全国を上回っており、ICTの使用技術も高いレベルとなっています。児童生徒同士がやりとりする場面において、「分かりやすく伝える」「考えを共有し比べる」など、ICT機器の効果的な活用方法を研修し、質の高い対話で価値交換を実現する授業づくりを進めていく必要があります。

### 生活・学習習慣の確立

朝食を毎日食べている

読書が好き

新聞を週に1回以上読んでいる

家には、101冊以上の本がある

学校の授業時間以外に、1日当たり30分以上、読書をしている

学校の授業時間以外に、1日当たり1時間以上勉強をしている

分からないことやよく知りたことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができる

毎日、同じくらいの時刻に寝ている

毎日、同じくらいの時刻に起きている

項目	恵庭市小学校	恵庭市中学校	全国=100
生活・学習習慣の確立	130.0	120.0	110.0

### 1日当たり1時間以上家庭学習する割合は、中学校で全国平均とほぼ同程度、小学校は全国との差が広がっている。授業と連動した課題、一人一人の学習状況に応じた課題（AIドリルの活用）など、児童生徒が自ら学習に取り組む手立てを学校全体で検討し、家庭と連携した取組を進めていくことが大切です。

### 学習に対する興味・感心

(小)自分で予想(仮説)を立てている

(中)予想(仮説)をもとに観察や実験の計画を立てている

理科の授業の内容はよく分かる

理科の勉強は好き

算数・数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っている

算数・数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えられている

算数・数学の勉強は好き

算数・数学の授業の内容はよく分かる

算数・数学の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを褒めてくれる

国語の授業の内容はよく分かる

国語の勉強は好き

項目	恵庭市小学校	恵庭市中学校	全国=100
学習に対する興味・感心	120.0	110.0	100.0

### 「算数の授業の内容はよく分かりますか」の質問で肯定的な回答の割合は、小中ともに前回より低くなり、中学校は全国平均と11ポイントの差となりました。クロス集計では、「授業が分かると答えた児童生徒ほど正答率は高くなる」という相関性が明らかになっています。

### 授業の振り返りの場面で、「こういうふうによったらできるようになった」と自分の行為や変容を自覚させることが大切です。その手ごたえやわからなさの自覚が「よし、またやってみよう」を生み出し、その積み重ねが自律した学びへとつながります。学んだことを言語化する丁寧な振り返りを行う。そのために学習課題を自分事とし、まずは自分で考えて取り組み、友達と対話して考えを深めていくという学び方を身に付けさせる。単位時間だけではなく、単元計画、年間指導計画を学校全体で構築していくことが大切です。

